

第4回平方北小学校再編検討協議会

1

【第4回 協議会の内容】

- ① 近隣校をふまえた検討について
《協議》
- ② 児童への意見聴取について
《協議》

2

近隣校をふまえた検討について

3

【近隣校をふまえた検討についての内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 前回の意見や質問への資料提供
- ③ 協議

4

① 前回の振り返り

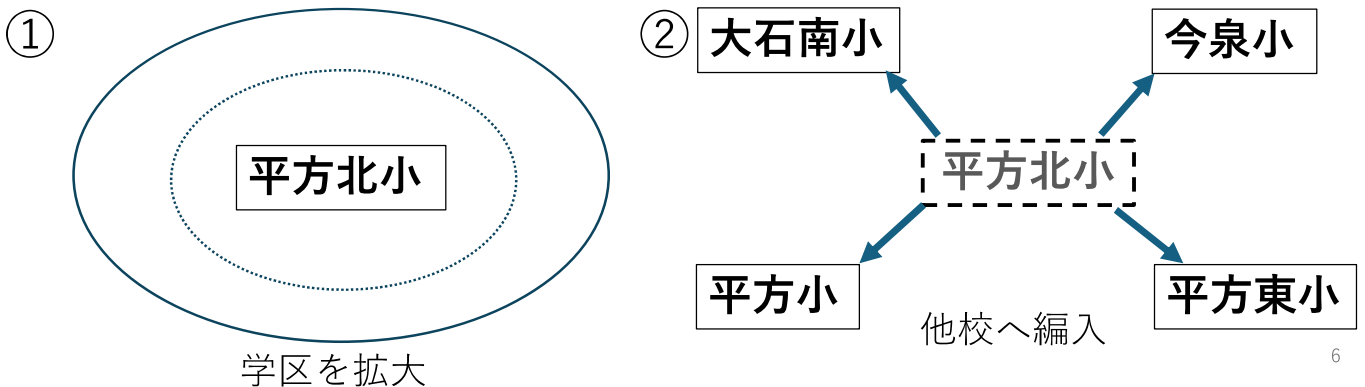
5

○近隣校をふまえた検討について

児童の編入の仕方を以下のように検討し、実施しました。

< 児童の編入の仕方 >

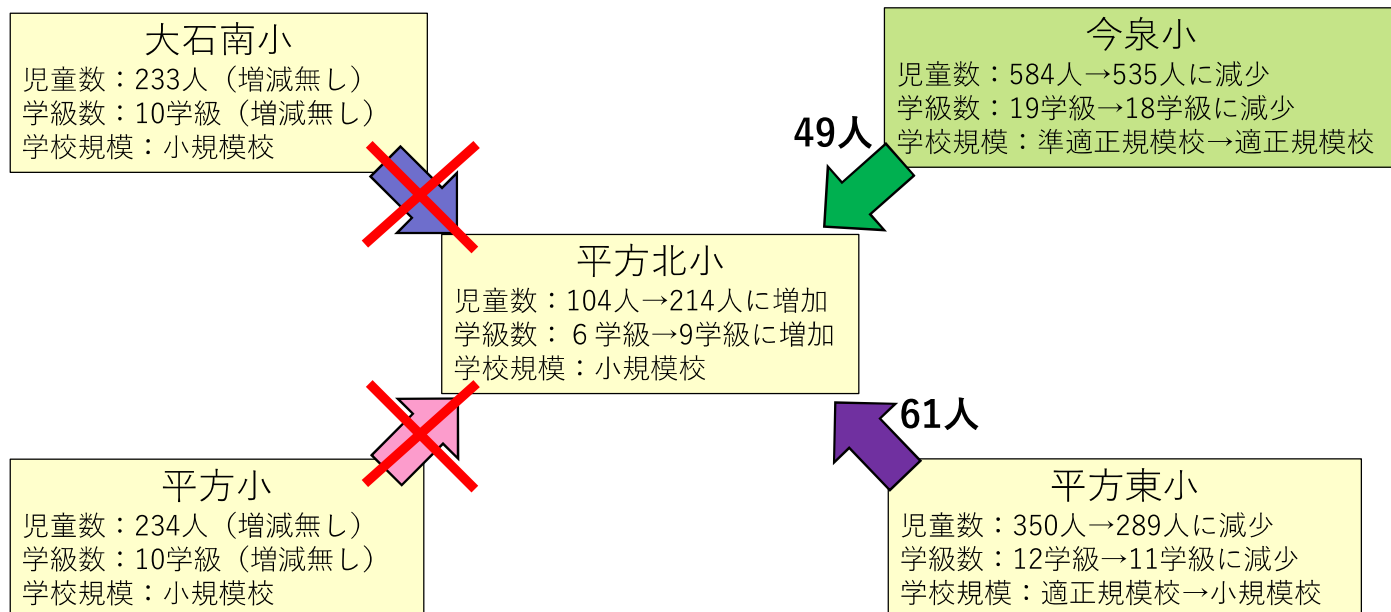
- ①平方北小学校の通学区域を拡大し、児童を編入させる場合
- ②平方北小学校の児童を他校に編入する場合



6

① 平方北小の学区を拡大して近隣校の児童を編入

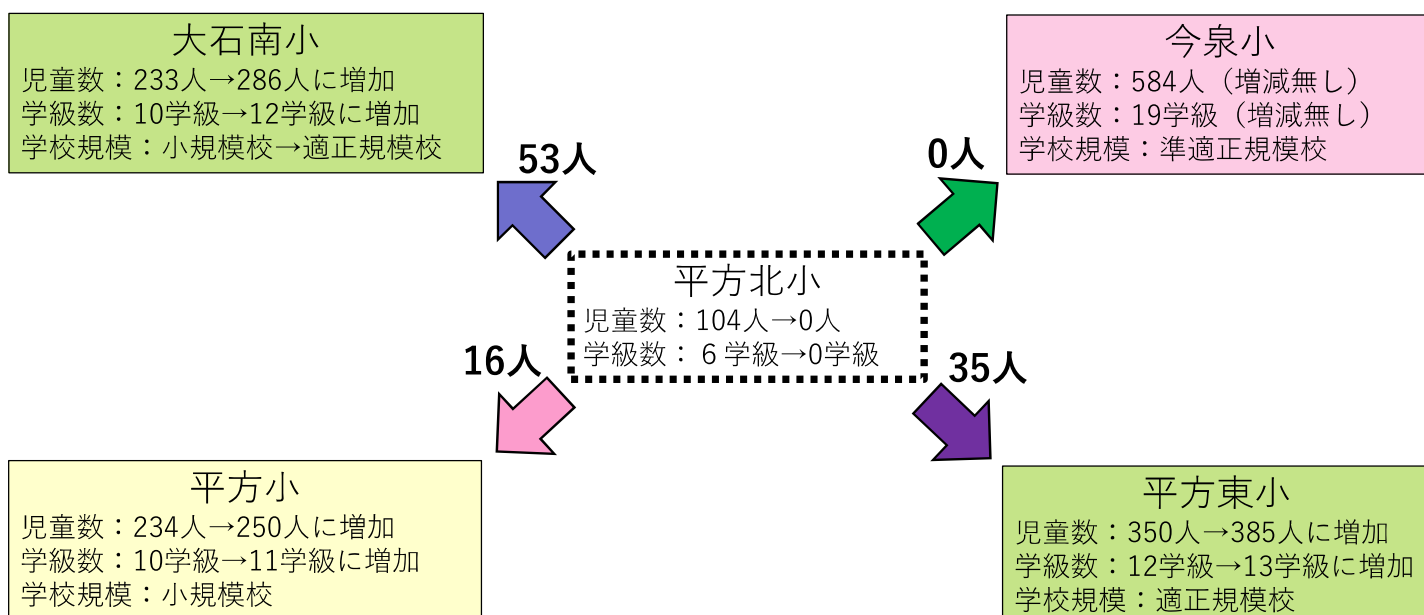
近隣校の規模を維持したまま平方北小学校に編入させる場合



7

② 近隣校の学区を拡大して各学校へ編入

通学距離を考慮して、近隣校が適正規模となるように近隣校の学区を拡大



② 前回の意見や質問への資料提供

9

○前回の意見や質問 今後の児童数の動向

意見・質問:今後の児童数の動向

・もっと先を見据えて本当に学校配置をどのようにしなければいけないか、それを目指していくとすると、1年ごとにどのようになるかという見方をしていった方が良くはないか。

・12から18学級が適正と定めたなら、大石小などの適正規模を上回る5クラスぐらいある学校などは議題に上がらないのでしょうか。

10

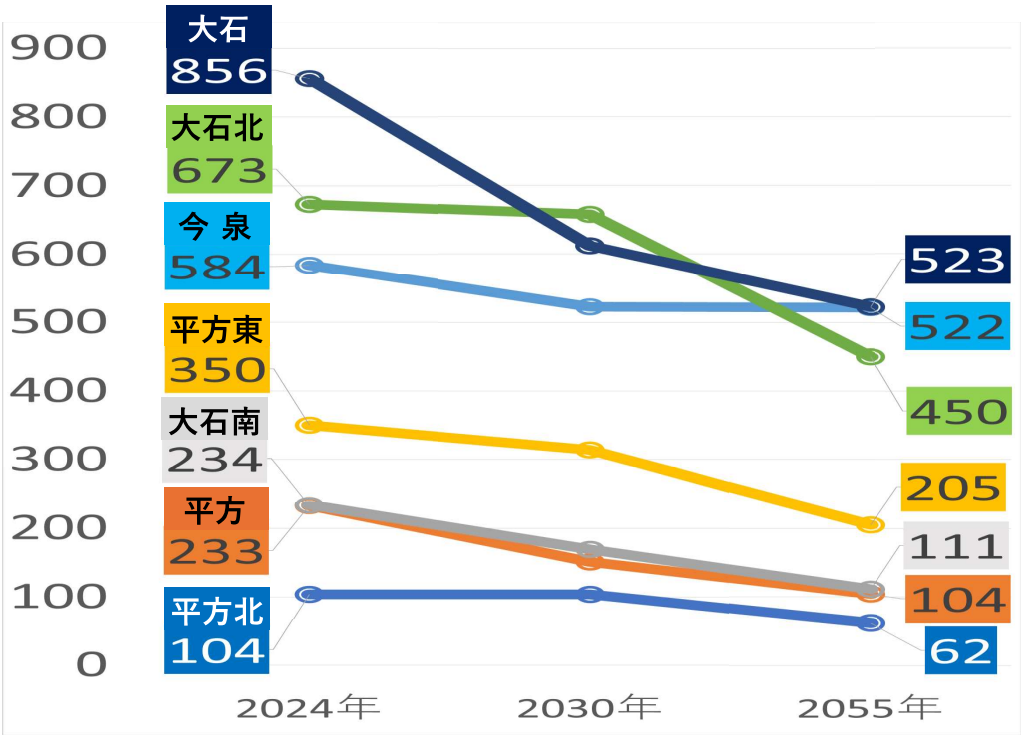
平方北小学校の近隣校及び大石方面の学校の児童数・学級数
(令和6年から12年までの推移)

No.	学 校 名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)							学校規模
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
1	平方北小学校	104	108	105	109	103	105	104	再編検討対象校
		6	6	6	6	6	6	6	
2	平方小学校	234	229	220	202	186	172	169	小規模校 (全学年単学級2年目)
		10	10	9	8	7	6	6	
3	大石南小学校	233	220	207	181	185	174	151	小規模校 (全学年単学級1年目)
		10	9	8	7	7	7	6	
4	平方東小学校	350	375	368	360	351	327	314	適正規模校
		12	12	12	12	12	12	12	
5	今泉小学校	584	595	610	595	589	560	523	適正規模校
		19	19	20	20	20	19	18	
6	大石小学校	856	824	791	723	711	651	612	準適正規模校
		27	26	25	23	23	21	20	
7	大石北小学校	673	653	656	636	635	657	658	準適正規模校
		20	20	20	20	20	21	21	

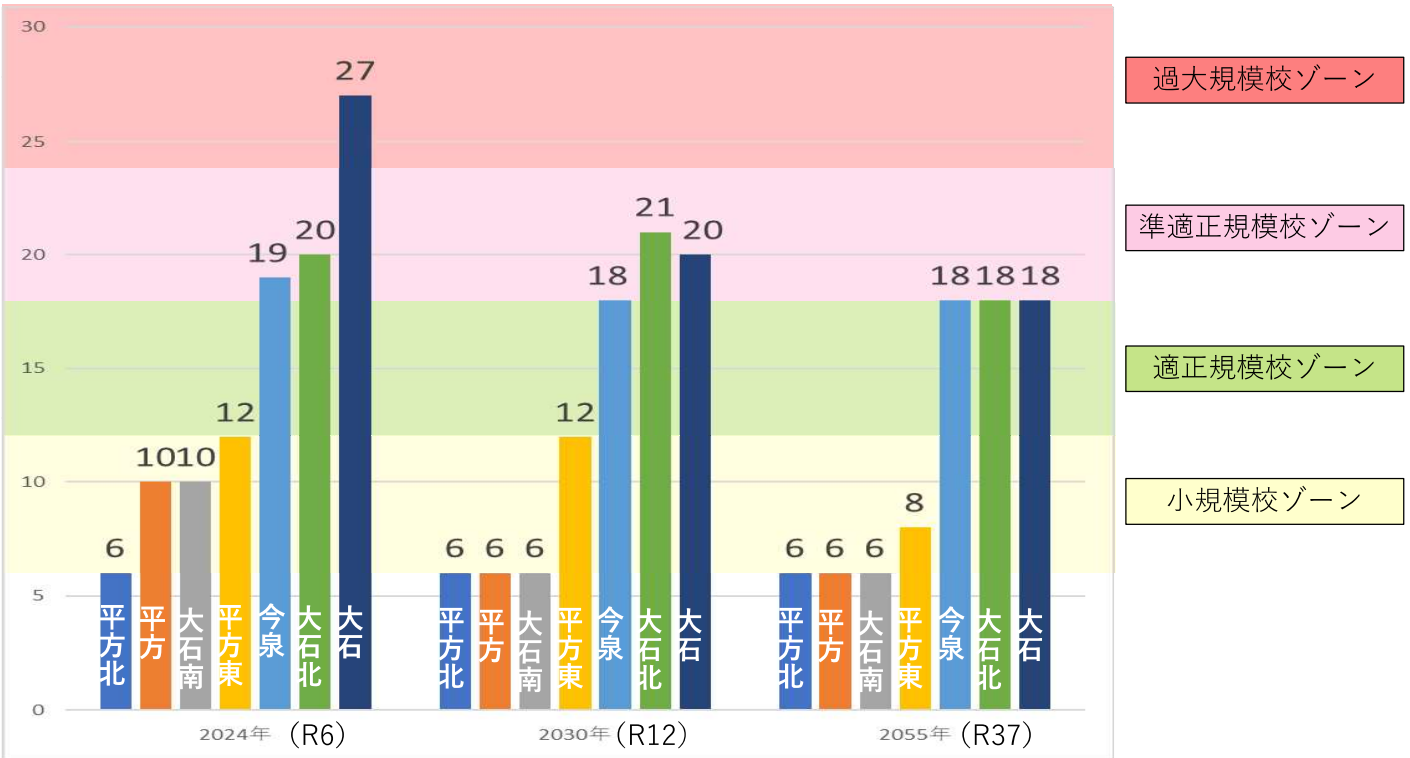
平方北小学校の近隣校及び大石方面の学校の児童数・学級数
(令和12年推計)

No.	学 校 名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)							学校規模
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
1	平方北小学校	16	12	16	22	16	22	104	再編検討対象校
		1	1	1	1	1	1	6	
2	平方小学校	28	23	27	31	30	30	169	小規模校 (全学年単学級2年目)
		1	1	1	1	1	1	6	
3	大石南小学校	20	22	30	16	32	31	151	小規模校 (全学年単学級1年目)
		1	1	1	1	1	1	6	
4	平方東小学校	39	45	57	50	54	69	314	適正規模校
		2	2	2	2	2	2	12	
5	今泉小学校	63	85	83	81	115	96	523	適正規模校
		2	3	3	3	4	3	18	
6	大石小学校	91	82	124	93	118	104	612	準適正規模校
		3	3	4	3	4	3	20	
7	大石北小学校	104	120	104	112	119	99	658	準適正規模校
		3	4	3	4	4	3	21	

2024年～2030年～2055年の児童数の推移



2024年～2030年～2055年の学級数の推移



○前回の意見や質問 シミュレーションの条件（対象について）

意見・質問:シミュレーションの条件(対象について)

- ・平方だけを考えるのではなくて、平方と大石と一緒に考える方がスムーズな気がします。
- ・大石地区のクラス数が多い学校を3クラスなどの適正規模となるように平方地区にずらしていけば、平方北小も2, 3クラスの適正規模になる可能性があります。
- ・もっと西口側の小学校で考えないといけないのではないかと思います。
- ・通学路の編成も、高崎線の線路で区切って、西と東とかで分けて編成していくというのが一番いいのではないかと思います。
- ・小敷谷西部区も平方北小に近いのですが、大石南小に通うことになっています。小敷谷西部区が近いので、そこを編成すれば平方北小を残しても、まだ児童は増えていくのではないかと思います。

15

○通学区域の変更について

通学区域の調整と再編成についての考え方

法令上の厳格な基準はないが、児童数や自治会、通学路などを考慮して、市町村の教育委員会が通学区域を決めています。

児童数

- ・対象地区にまとまった児童数が存在しており、調整の効果があること
- ・受け入れ先の学校に長期的な施設の余裕があること

自治会

- ・市民の地域活動単位である自治会を不自然に分割・統合するものでないこと

通学路

- ・学区調整により、児童の通学距離が極端に増加することがないこと
- ・大きな道路、鉄道を新たに横断する時は、安全上の問題を生じないこと
- ・隣接する学区やその通学路が複雑に交差しないこと

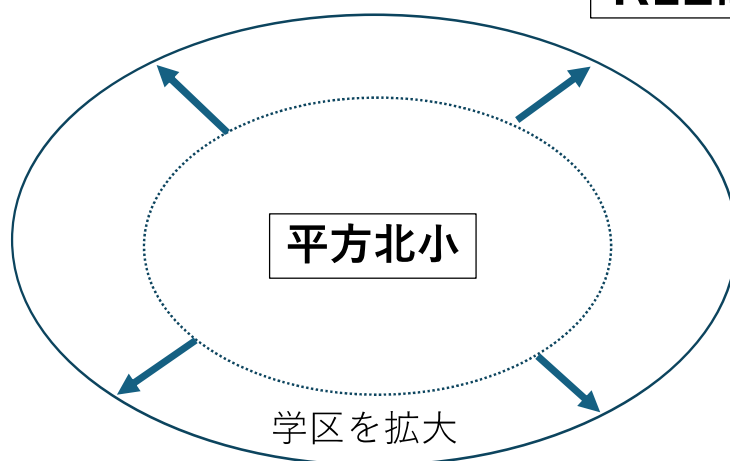
その他

- ・過去に地元との協議経緯等がある場合は、その実現可能性に留意すること

16

前回の意見をふまえたシミュレーション（案）

R12時点での児童数



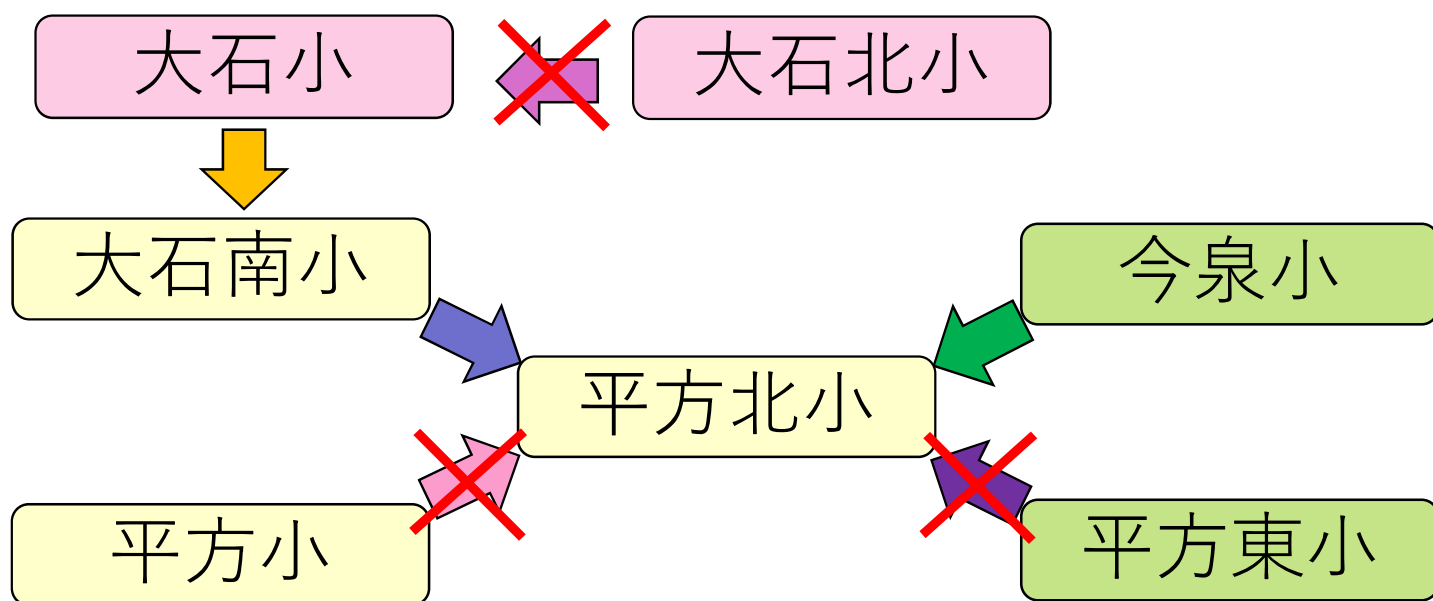
17

○児童の編入の仕方

- ・ 児童を編入する範囲は自治会全体で編入とする
- ・ 近くの学校を通り過ぎるような児童は編入しない
- ・ 通学距離は考慮しない

18

○シミュレーションのイメージ図



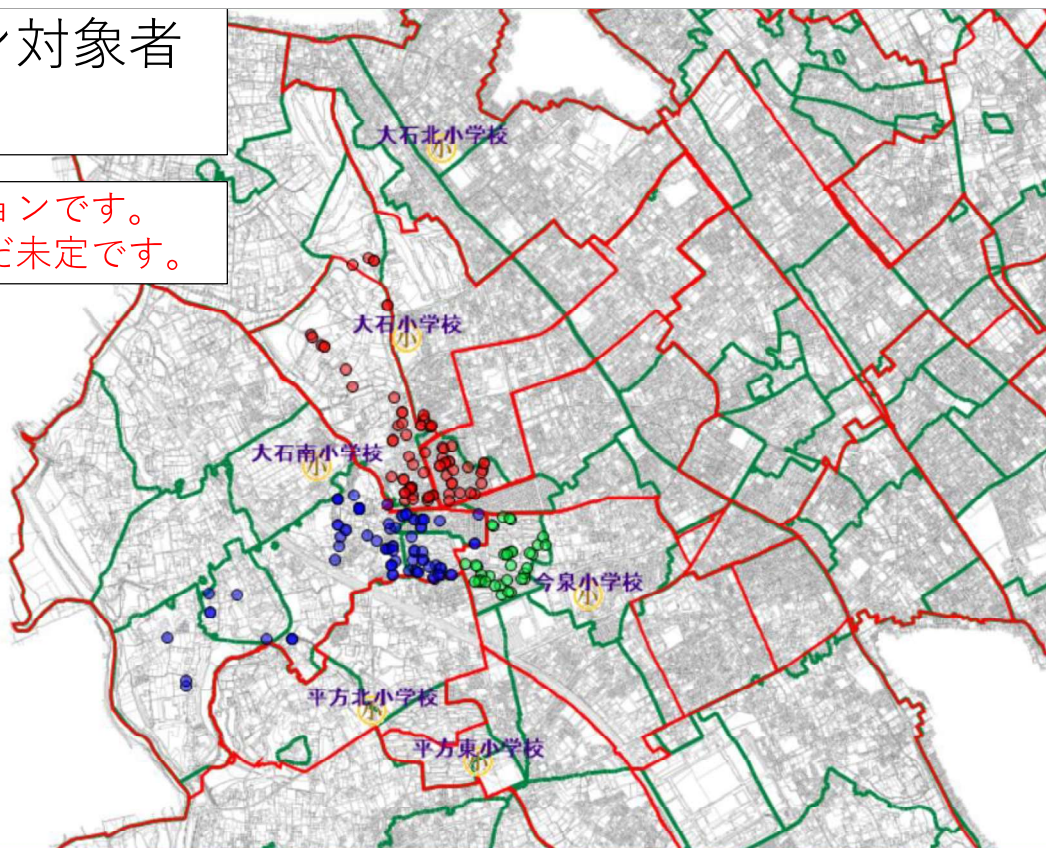
※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

19

シミュレーション対象者の分布図

※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

- 凡例
- 小学校通学区境界
 - 事務区域界
 - 大石小未就学児
 - 大石南小未就学児
 - 今泉小未就学児



○シミュレーションによる編入後の児童数

No.	学 校 名	普通級児童(上段)・普通級学級数(下段)						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	大石小学校	90	79	117	84	109	98	577
		3	3	4	3	4	3	20
2	大石南小学校	16	22	34	21	34	25	152
		1	1	1	1	1	1	6
3	今泉小学校	61	68	74	64	90	79	436
		2	2	3	2	3	3	15
4	平方北小学校	42	30	35	39	45	41	232
		2	1	1	2	2	2	10

※こちらはシミュレーションです。
平方北小の再編方法はまだ未定です。

○前回の意見や質問 通学区域変更時の対応

意見・質問:通学区域変更時の対応

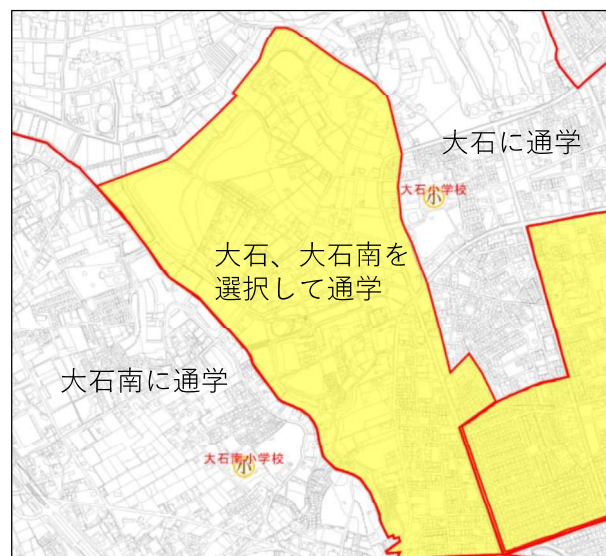
・例えば平方北小の学区を拡大して、平方東小と今泉小の児童を平方北小に編入すると決定した場合、強制的に編入になるのでしょうか、それとも選択制になるのでしょうか。

○調整区域について

調整区域(学区調整区域)とは

学校規模の適正化のため通学区域によって定められた学校とは別の学校を選択して通学することができる地域のことでございます。

小学校で11カ所、中学校では9カ所の調整区域が現存している。



23

○調整区域について

大石小(指定校)と大石南小(選択校)の調整区域の効果について

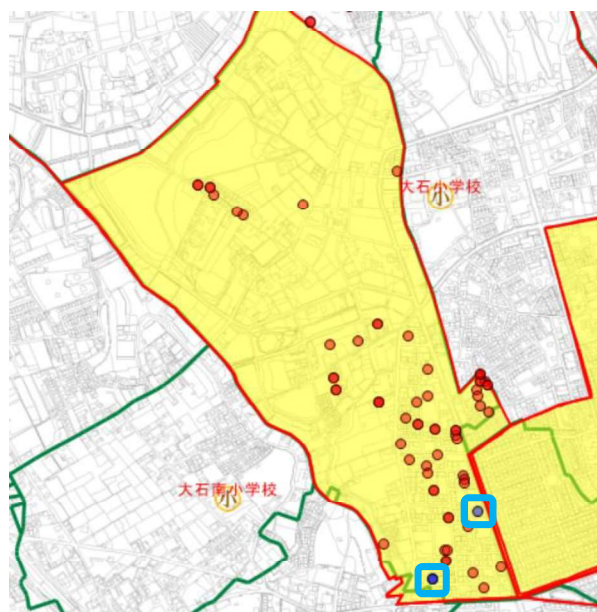
	大石小	大石南小
人数	69	3
割合	95.8%	4.2%
令和6年度入学	12	1
令和7年度入学	7	1

大石小を選ぶ理由

- ・きょうだいが通学しているため(10名)
- ・通学距離による安全面(6名)
- ・近所の子も通っているから(2名)
- ・子供の希望(1名)

大石南小を選ぶ理由

- ・きょうだいが通学しているため(1名)
- ・近所の子も通っているから(1名)
- ・少人数のため(1名)



○調整区域について

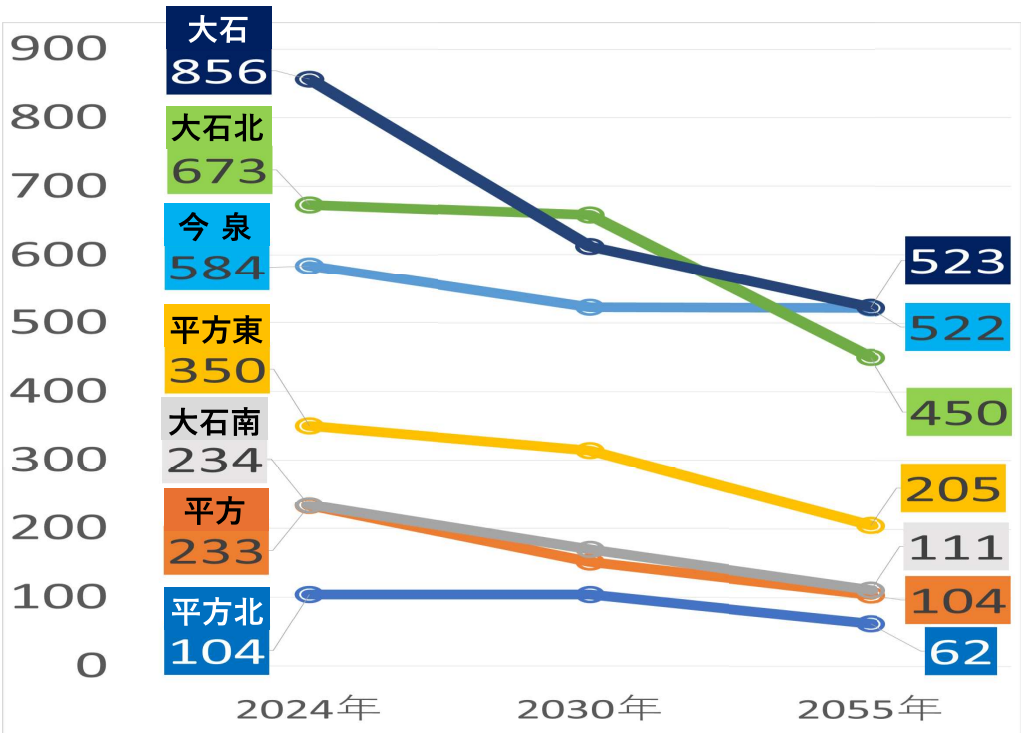
平方北小の近隣校の通学区域に関するアンケートについて

問1 現在、平方北小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、平方北小学校への就学を選択できるようになった場合、平方北小学校への就学を選択しますか。次の中から1つ「○」を記してください。

学校	選択する	選択しない	分からない
平方小学校	1	66	14
	1.2%	81.5%	17.3%
大石南小学校	1	64	10
	1.3%	85.3%	13.3%
今泉小学校	1	205	13
	0.5%	93.6%	5.9%
平方東小学校	2	127	8
	1.5%	92.7%	5.8%

25

2024年～2030年～2055年の児童数の推移



③ 協議

27

協議の内容

【協議していただきたい内容】

・今回の説明を受けて、平方北小の学校規模適正化にはどうすべきか。

【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

28

児童への意見聴取について

29

【児童への意見聴取についての内容】

- ① 前回の振り返り
- ② 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の共有と協議（中学生）
- ③ 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の共有と協議（小学生）

30

① 前回の振り返り

31

○児童への意見聴取について

以下の項目について、検討し、共通認識を図った上で、実施。

- ① 意見聴取の目的
- ② 意見聴取の対象
- ③ 意見聴取の手法
- ④ 意見聴取の内容
- ⑤ 意見聴取の設問

32

② 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の 共有と協議（中学生）

33

○前回の意見のうち中学生の意見聴取のたたき台の参考とした意見

意見・質問：

・対象を広げてほしいかなと思っていて、（中略）中1、2、3の近隣校（太平中、大石南中）だけでもいいですし、中学にも似たような内容でいいのでアンケートを取ったらどうか。

・中学生になり規模の大きい学校に行くと、自分たちは小規模にいたけれども、複数クラスあるというのは、良い面、悪い面あったということに気づく子たちが多いと思います。

34

○前回の意見をふまえた意見聴取のたたき台（中学生）

- ① 目的：単学級から複数学級へ変わったことによる影響の把握
- ② 対象：太平中、大石南中、瓦葺中 1～3 年生
- ③ 手法：Google フォームを使用
- ④ 内容：小学校から中学校に進学して、学校生活がどう変わったかなど
- ⑤ 実施時期：令和 7 年 5 月～6 月に実施予定。その後の 4 回の会議でアンケート結果を協議結果に反映するため。
- ⑥ 事前資料：なし。バイアスのかかっていない子供の意見が欲しいため。
- ⑦ 設問内容：別スライド参照

35

○意見聴取の設問案（中学生）

- ① 小学校と比べて、学校での生活は楽しいですか。
選択肢案）楽しい、つまらない
- ② ①で答えた理由を教えてください。（3 つまで）
選択肢案）クラス替えができるようになったため、クラスが多いため、新しい行事があるため、部活動があるため、仲の良い友達と別れたため、授業が難しくなったため
- ③ 中学校と比べて、小学校にあったら良かったなと思うことはなんですか。
選択肢案）自由記述

36

中学生の意見聴取のたたき台の協議の内容

【協議していただきたい内容】

- ・意見聴取の目的、対象などはこれでよいか。
- ・意見聴取の設問内容について、追加・削除したい設問案や選択肢案はあるか。

【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

37

③ 前回の意見などをまとめた意見聴取のたたき台の 共有と協議（小学生）

38

○前回の意見のうち小学生の意見聴取のたたき台の参考とした意見

意見・質問：

- ・同じ学校の友達と別れることになる時に、子供たちも意見を言えてそうなのと、何も言えないで分かれるのでは心のダメージや捉え方が違うのかなと思います。
- ・結論に達するときまでの過程は大事で、アンケートをとる目的はそこなのかなと思っています。
- ・子供としては場所をどうっていうよりも、お友達と一緒に行動するんだったら別に平方東小でもどこでも変わらないっていう認識でいます。

○前回の意見をふまえた意見聴取のたたき台（小学生）

- ① 目的：他の学校に編入する際に児童たちが受ける影響の把握
- ② 対象：平方北小 5，6 年生
- ③ 手法：Google フォームを使用
- ④ 内容：他の学校に編入となった際に気を付けてほしいことなど
- ⑤ 実施時期：本会議で平方北小を他の学校に編入する方向が強くなった時
- ⑥ 事前資料：他の学校に編入となった際にどのようなことが起こるかわかる資料
- ⑦ 設問内容：－

小学生の意見聴取のたたき台の協議の内容

【協議していただきたい内容】

- ・意見聴取の目的を考えると、現時点での実施が必要か。
- ・意見聴取の目的を変えたうえで現時点での実施が必要であれば、こういった目的とするか。

【頂いた意見の概要】

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

41

お疲れさま
でした

42